

ペット事業、県内で拡大

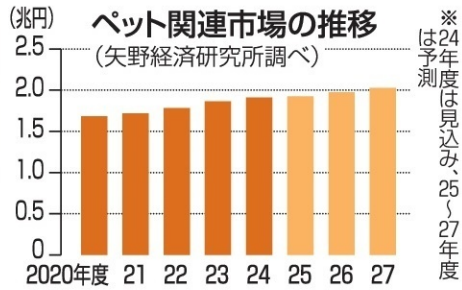
27年度の全国市場2兆円超見通し



ペットリフォームのショールーム＝岐阜市
則武東、山田商会岐阜北店



通常の店舗より4倍ほど広いペット用品の売り場
＝中津川市手賀野、スーパーマーケットバロー中
津川駒場店



同研究所が8月に発表した「ペットビジネスに関する調査」によると、24年度の市場規模(小売金額ベース)は、前年度比2・6%増の1兆9108億円になると見込む。

こうした中、ガス工事やガス機器販売の山田商会(名古屋)は23年11月、ペットと暮らす人向けのリフォーム事業に参入した。自

ペット市場が拡大している。矢野経済研究所(東京)によると、ペットフードやペット用品などペット関連の市場規模は毎年増加し、2027年度には2兆円を超える見通し。需要が高まる中、ペット事業への異業種からの参入やペット事業を強化する動きが県内でも広がっている。

(松浦健司)

猫用リフォーム提案や売り場強化

万円、今期は約半年で2千万円を超えた。關野利彦くらし事業部次長兼岐阜北店所長は「ドッグマルシェに積極的に出店して認知度を上げたい」と意気込む。

スーパーマーケットのパローは、9月19日にオープンした中津川駒場店(中津川市)のペット用品の売り場を通常より4倍ほど広く取った。通路の両サイドにペット用品の陳列棚を配し、他の店舗ではまだ少ないペットフードの高付加価値品を販売するための冷凍ケースも設置した。

品もそろうと思って来てほしい」と呼びかける。

商業施設や鉄道会社も取り組みを強化している。

土岐プレミアム・アウトレット(土岐市)は昨年10月、総面積470平方メートルの屋外ドッグランを、プレミアム・アウトレットとしては初めて開設。名古屋鉄道は今年3月、ペットのトリミングサロンの運営会社を買収し、ペット事業に参入した。JR東海も今年3月、東京駅発の東海道新幹線の「のぞみ」1両を貸し切り、乗客が愛犬をケージから出して触れ合えるイベントを開催した。